２０１８年１２月３日

東大和市　　尾崎市長　殿

都市建設部　直井部長　殿

土木課　　　寺島課長　殿

玉川上水駅の地下通路の自転車の走行に関する要望書

東大和・生活者ネットワーク

代表　千葉　総子

市議　実川　圭子

　玉川上水駅を北の東大和市側から南の立川市側へ抜ける地下通路は車道と歩行者用に分離しています。自転車が走行するときは、歩道を自転車から降りて、押しながら通るように看板などで注意を促しています。

当該箇所について、以前より、自転車に乗ったまま、スピードを出して通る人が多く、非常に危険な状況であるとのご指摘を市民の方からいただいています。

実際に現地を調査したところ、私たちが午前９時過ぎから３０分ほどその場にいた間、自転車を利用していた方すべて、自転車に乗ったまま走行していました。上りに備えて、下るときはスピードをつけて通り過ぎていき、歩く人にとっては非常に危険を感じました。所々に車止めが設置されていましたが、その両側にはある程度スペースがあり、走り抜けることが可能になっています。

また、前後に子どもを乗せられる電動タイプの自転車（ママチャリ）は車体の長さが長く、車体自体の幅も広く重たくなっています。そのため、歩いて押していくには、上り坂が押して上れない、下るときも押しながらだとコントロールがききにくい、押して歩く場合は、子どもを乗せたままだと押せないので下ろして歩かせたいがほかの自転車がスピードを出して走るため危険、車止めの設置してある間隔では自転車の幅がギリギリなため非常に通りにくい、などの問題が明らかになりました。

一方、玉川上水駅のエレベーターは自転車の利用も可能になっていますが、そのエレベーターにもママチャリは車体が長く、入れることができません。毎日、保育園や幼稚園の送迎に利用している保護者にとっては安全に通れるようになることが最優先であり、その他の歩行者にとっても安心して通れる場所になるよう対策が必要と考えます。

　当該箇所は都道のため、市から住民の要望を都へ伝えていただき、安心して利用ができるよう改善に努めていただけますよう、よろしくお願いいたします。

提案項目

1. 当該箇所において、歩行者、自転車利用者の双方の安全を確保するよう対策をすること。

自転車利用者で押しながら通る人はほとんどいません。

また、ママチャリなど自転車のタイプは多様化しています。現状に即した対応を求めます。

例えば・歩行者と自転車の通行帯をわける。

　　　・車止めの両側を通れないようにし、走行するときにスピードを出せないようにする。

　　　・車止めの設置間隔を工夫し、自転車を押しながらでも通りやすいようにする。

試行期間を設けて最善の方法に改善してください。

２．駅エレベーターを幅の広いタイプに変更し、電動タイプの自転車にも対応すること。

　　現在のエレベーターでは車椅子や救急のストレッチャーなども利用できません。

以　上